

北秋田市民病院 循環器内科 佐藤誠医師に聞く 診療部長

図 医療健康課地域医療対策室
☎62-6626

昨年より、新たに北秋田市民病院の常勤医師としてこられた循環器内科診療部長の佐藤誠先生に北秋田市民病院の印象やご専門などについてインタビューした内容をまとめてご紹介します。誠先生は4月から患者サポートセンター長も兼任されており。

Q1. 市民病院の印象はどう感じていますか。

市民病院は厚生連という大きな組織の病院でもあり、新しいことや患者にとって良いと思ったことを簡単にはできないのではと周りから心配もされましたが、みなさんが協力してくれて実現できています。職場としてはとてもやりやすい職場です。

Q2. 先生のご専門について

一番は、循環器救急の心筋梗塞、

心不全とかの急性期治療です。また、その後、地域で暮らすために必要に心臓リハビリテーションも自分の専門だと意識しています。その他に、総合内科、総合診療や救急医療も範ちゅうだと思っています。

Q3. 北秋田市の救急医療について

北秋田市では市民病院が救急の岩であり、市の救急搬送のほぼ9割の方が搬送されてきます。医者と看護師の数が少ない中で、秋田市とか首都圏とかと変わらない質を保つため



【佐藤 誠 先生プロフィール】

能代市二ツ井出身。妻と3人の子どもの5人家族。

◆略歴◆
1999年秋田大学医学部医学科卒業。その後、中通総合病院内科ローテート研修、りんくう総合医療センター市立泉佐野病院心臓センター、名古屋徳洲会総合病院ハートセンター、中通総合病院循環器内科を経て、2015年中通総合病院救急診療部長。2018年北秋田市民病院循環器内科診療部長。2019年北秋田市民病院患者サポートセンター長兼任

◆学会認定◆
○日本心血管インターベンション治療学会名誉専門医 ○日本脈管学会専門医 ○日本内科学会総合内科専門医、指導医 ○日本循環器学会専門医 ○アメリカ心臓病学会AHA認定ACLSインストラクター ○日本救急医学会認定ICLSコースディレクター ○日本プライマリ・ケア学会認定医、指導医 ○日本心臓リハビリテーション学会認定指導士 ○JPTEC協議会認定インストラクター ○日本DMAT隊員

に、どういう仕組みを作らないといけないのかというのが課題です。幸い赴任前に秋田大学で救急治療部で仕事をさせてもらって、こういったケースが秋田市内の病院や大病院と連携しお願います。今後はそういった仕組みが大事であると考えています。

Q4. プライマリ・ケアについて

これがこの地域で本当に重要なことだと思っています。先生方はどんな専門分化してきており、自分の専門分野以外をよくわからないというのが問題になってきていますが、その中で、新しい診療領域として、総合診療プライマリ・ケアが目されています。市民病院では、各診療科の先生方が自分の専門領域以外にも協力してプライマリ・ケアの部分を実践として担い続けて来てい

ます。これからはますます必要となってくると思います。

Q5. 休日やオフで楽しむことは

幼稚園の子どももおり、休日は、下の子をブランコに載せたり、お風呂にいれたりするのが一番楽しい時間です。育児に関わらないときは、スキー、モーグルもやるし、ゴルフ、ウクレレ、自転車と多趣味な方かと思えます。子どもたちも電車が好きで、時には内陸線も乗ります。阿仁合駅のごま亭で食べようかという、家族みんなで行くという話になったりもします。

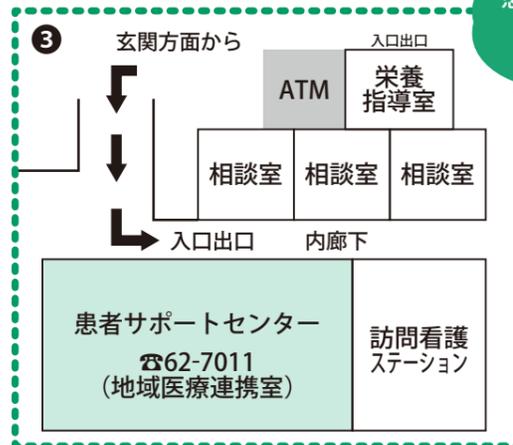
Q6. 医師として心がけていること

朝の回診です。7時半頃、朝ご飯のあたりにいくので、実は患者さんといかないからという人もいますが、病院と診療所が連携して問題なく緊急の対応も情報をやり取りした上でできている事例が多いです。逆に、慢性期の患者さんで外来があふれていることで、救急・入院対応にさしつかえる可能性があります。そういった点で、症状が落ち着いた方は、かかりつけの先生にお願いし、そこに通ってもらって、「ダブル主治医」という形でやれたらと思っています。そこが患者サポートセンターの仕事だと思っています。患者さんが地域で安心して生活するために身近なかかりつけ医や行政であったり、施設や介護事業所、家族を繋いで支援していただくと考えています。ぜひ、ご協力とご理解をいただければと思います。

市民病院の患者相談窓口が一元化されました

みんなのサポセン誕生!

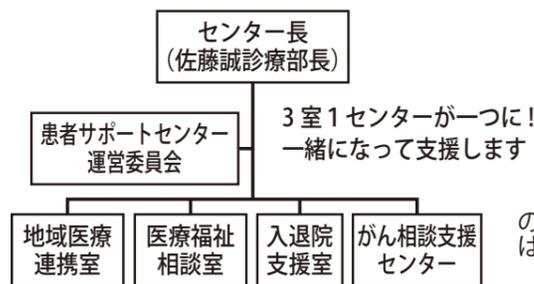
北秋田市民病院では、患者が安心して医療を受け、住み慣れた地域で療養生活を送ることができる環境づくりの支援を患者サポートセンターが行っています。



患者サポートセンターはこちらです

① 玄関入ってまずはまっすぐに進みます

●相談室は3つあり、個室で安心して相談できます



●サポセン3つの特長

地域医療連携室、医療福祉相談室、入退院支援室、がん相談支援センターが患者サポートセンターとして一元化

患者サポートセンターでは、入院から退院までの支援、地域の医師からの紹介ケースや市民病院からの逆紹介、医療や福祉、介護サービスの利用などについて、入退院支援室、地域医療連携室、医療福祉相談室が一緒になって相談を受けています。

相談室が3室、プライバシー配慮の個室

外来にも近く、プライバシーに配慮した相談室3室を完備、安心して様々な相談を行うことができます。

訪問看護ステーションも隣接

退院後、在宅医療をささえる訪問看護ステーションも同じ場所にあります。